

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局生涯学習課	
施設名称	37	東京都台東区立今戸社会教育館	指定管理者	J N共同事業体	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R4.4.1	～ R9.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所在地] 台東区今戸2-26-12 今戸住宅11階建2階 待乳保育園併設 [規模] 延床面積527㎡ SRC造 ホール(50名)、第1会議室(30名)、第2会議室(40名)、和室(30名)
(3)	[委託事業] ①社会教育センターの管理運営 ②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供 [自主事業] 地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 【開館日】火～日曜:午前9:00～午後10:00 月曜:午後1:00～午後10:00 【休館日】国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 7名 (内 訳) 担当マネージャー(1) 教育担当(1) 受付・庶務(5) (前年増減) +2名(受付・庶務+2)

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料(指定管理料)	15,819,000	15,977,708	20,143,000	20,161,819
	利用料金収入	1,246,000	802,220	1,342,000	1,256,370
	その他収入()	0	0	0	0
	計	17,065,000	16,779,928	21,485,000	21,418,189
支出	人件費	12,243,000	12,550,985	16,315,000	16,317,782
	光熱水費	1,551,000	1,542,655	1,551,000	1,972,338
	維持管理費(委託料・賃借料)	2,232,000	2,270,500	2,617,000	2,562,640
	修繕費	110,000	71,500	102,000	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品や印刷製本費、保険料など)	899,000	296,042	900,000	399,622
計	17,035,000	16,731,682	21,485,000	21,252,382	
収支			48,246		165,807

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
年間開館日数	日	344	287	330	344
自主事業等講座	講座	15	4	13	9

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用率	%	36.0	31.2	33.0	34.1
利用人数	人	16,000	8,204	9,644	13,287

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

令和3年度に予算を上回っていた人件費、維持管理費が抑えられ、ほぼ予算どおりの執行となった。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書、事業報告書等は適正に作成され、遅延なく提出されている。施設設備の故障があった際は、速やかに報告、対応がなされ、適正な管理運営ができています。新型コロナウイルス感染防止対策も継続して行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	職員の業務を明確にし、効率的な人員配置を行った。新型コロナウイルス感染防止のため中止していた利用者懇談会を再開し、利用者の意見・要望に対応している。地域活動体験講座や地域安心セミナー等の社会教育施設の目的に沿った事業を展開している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	計画的に点検を行い、不具合箇所を把握し、優先順位の高い箇所から修繕する等、適正な保守管理を実施している。不具合等が生じた時は、安全面での応急処置を行い、利用者への安全対策に努めている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナウイルス感染対策で中止していた利用者懇談会を再開し、意見・要望を広く収集し、運営に生かしている。アンケートの回収率も前年度より上昇した。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	省エネに積極的に取り組んだものの、電気・ガス料金の高騰により光熱費が予算を上回った。また、利用料金収入は前年度より増加したが、引き続き効果的な利用拡大の工夫が必要である。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (94 / 110点)	【所見】 下町散歩等の地域の特性を活かした事業が好評であり、社会教育施設の目的に沿った事業を展開している。利用者アンケートでは、スタッフの接遇や備品・設備、施設の快適さの項目で良好とあり、評価される。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 光熱水費が予算を上回っているが、こまめな消灯など引き続き節約に取り組んでいる。また、令和5年度以降は、物価高騰の影響を指定管理料予算の積算にも適切に反映させている。